

令和5年度 文化財担当者研修課程一覧(予定)

2023/6/1現在

区 分	専 門 研 修													
課 程	古 文 書 歴 史 資 料 調 査 基 礎 課 程	出 土 文 字 資 料 調 査 課 程	建 築 遺 構 調 査 課 程	建 造 物 保 存 活 用 基 礎 課 程	木 質 文 化 財 科 学 的 調 査 基 礎 課 程	遺 跡 地 図・ G I S 課 程	文 化 財 三 次 元 計 測 課 程	保 存 科 学 (金 属 製 遺 物) 課 程	文 化 財 写 真 課 程	報 告 書 編 集 基 礎 課 程	報 告 書 デ ジ タ ル 作 成 課 程	史 跡 保 存 活 用 計 画 策 定 課 程	地 震 災 害 地 痕 跡 調 査 課 程	文 化 財 三 次 元 計 測 課 程 (入 門)
副 題	古文書・歴史資料の調査・取扱の入門編	文字と遺跡	建築遺構や出土建築部材に関する基礎的研修	文化財建造物の保存活用についての基礎的研修	木質文化財を担当する際に知っておいて欲しいこと	調査研究業務でGISを活用するために	ICT等を利用した文化財調査のスマート化・高次化によるDX時代への対応	金属製遺物の保存処理、保管管理のための実践的研修	文化財各分野の写真記録に必要な基礎知識とデジタル写真を中心とした実習	報告書を刊行するための基礎知識を学ぶ研修	報告書作成でデジタル技術を活用する研修	対象史跡の計画の事務局案作成	調査・記録法から活用まで	フォトグラメトリを用いた文化財の記録の入門編（開講地域への講師出張型課程）
実施期日	6月5日～ 6月9日	6月12日～ 6月16日	6月19日～ 6月23日	7月3日～ 7月7日	7月11日～ 7月14日	7月24日～ 7月28日	10月2日～ 10月6日	10月10日～ 10月18日	11月20日～ 12月1日	12月4日～ 12月8日	12月11日～ 12月15日	1月16日～ 1月22日	2月19日～ 2月22日	8月30日～ 9月1日
定 員	～15名	～15名	～15名	～15名	～10名	～15名	～12名	～12名	～15名	～15名	～15名	～14名	～20名	～10名
対 象	地域の中核となる地方公共団体の文化財担当職員若しくはこれに準ずる者													
内 容	古文書・歴史資料の調査・管理等を担当する立場にあるが、当該分野に関する専門的教育を受けたことのない地方公共団体等の文化財担当者を対象に、基礎的知識の習得を目指す研修。	木簡・墨書土器・漆紙文書等の出土文字資料の取り扱い(整理・釈読・管理・記録等)と、各種文献資料と遺跡を総合的に検討する手法を、実習や実例を紹介しながら解説する。	発掘調査で検出される建築遺構(竪穴建物・掘立柱建物・礎石建物・基壇)や出土建築部材を理解するために、必要な、建物の上部構造に関する専門的知識や、上部構造を考えるために必要な情報を得るための発掘方法などについての基礎的研修。	文化財建造物にかかる、価値、制度、保存方法、活用方法、保存活用計画の策定等についての講義をおこない、自治体担当者としての基礎的な知識の習得を目指す。	木質文化財を担当する際にどのように取り扱ったら良いのかわからない。そんな声にお応えすべく、木材科学、年代学、保存科学など木質文化財に関わる科学的な基礎知識を、講義・実習を通して身につけ、担当現場に生かすことを目指します。	遺跡地図およびGISの利用に関して必要な専門知識と技術の習得を目指した研修。QGISによる演習、データ管理やデータ活用手法についても学ぶ。	文化財調査における三次元計測と三次元モデルの解析および図の作成等、データの取得から活用の実践を講義と実習を交え習得する。 三次元計測方法はフォトグラメトリ(SfM-MVS)を中心に、3DレーザースキャナーやLiDAR、GNSS等を扱う。	本研修では、金属製遺物の保存処理を実施または外注する際の方法や仕様の選定、ならびに金属製遺物の展示・保管環境の調整といった、現場での実務をおこなう上で必要な知識および技術について、実習を交えながら学ぶ。	文化財の記録保存と活用において中心的な役割を持つ写真記録について必要不可欠な写真技術の基礎知識と、デジタル写真を中心とした実習を通じて実技を習得する研修。	文化財調査記録に必要な不可欠な報告書出版について、記述内容の意義や記述記録の基礎知識を習得する研修。	報告書出版に必要な編集知識や図版制作について、デジタル技術を活用しながら出版物作成をおこなう実践的な技術を習得する研修。	史跡等の保存活用計画書の策定演習を通して、計画書の事務局案作成を行う。ただし、目次建てのうち、「現状と課題」までは研修の事前課題として提出することを前提とする。	発掘調査で発見される地震痕跡の見分け、調査・記録法について、剥ぎ取り資料などを用いて、一般的な堆積物の記載方法と比較しながら学ぶ。また地域防災・減災教育への活用事例や、データベース構築に向けた情報の整理など、具体的な活用事例についても触れる。	文化財調査のためのフォトグラメトリ等の三次元計測方法の基礎と実技を習得する。また開講地域が抱える三次元計測関係の課題について解決に向けた方法を検討する。(開催地域には参加優先枠を設定する。)
申込締切 予 定 日	令和5年 4月19日(水)	令和5年 4月28日(金)	令和5年 5月2日(火)	令和5年 5月19日(金)	令和5年 5月26日(金)	令和5年 6月9日(金)	令和5年 8月18日(金)	令和5年 8月25日(金)	令和5年 10月6日(金)	令和5年 10月20日(金)	令和5年 10月27日(金)	令和5年 12月1日(金)	令和6年 1月5日(金)	令和5年 7月14日(金)

※1 各研修はリニューアルが図られております。

※2 募集は各都道府県及び政令指定都市教育委員会を通じて行われます。

※3 研修参加決定通知は研修開始日の約1ヶ月前に通知の予定です。

※4 文化財写真課程・報告書編集基礎課程・報告書デジタル作成課程は、続けて受講することができます。

※5 令和5年6月1日 文化財三次元計測課程(入門)の日程を更新しました。